

山形交響楽団メンバーによる
室内楽コンサート

室内楽のタビ
ファゴット & ストリングス



Violin
大伏亜里
Ari Inubushi

Fagot
高橋あけみ
Akemi Takahashi

Viola
成田寛
Hiroshi Narita

Cello
小川和久
Kazuhiisa Ogawa

◀ PROGRAM ▶
F. ダンツィ
ファゴット四重奏曲 変口長調 Op.40 No.3
F. シューベルト
弦楽三重奏曲 D. 471 B-dur
F. ドヴィエンヌ
ファゴット四重奏曲 ト短調 Op.73 No.8 他

2013.
4/8 [月]
19:00 開演 (18:30 開場)
文翔館
議場ホール

入場料 | 一般 2,500円 (当日 3,000円)
学生 1,000円 (当日同額)

高橋 あけみ (ファゴット)

桐朋学園大学卒業。卒業後桐朋学園大学嘱託演奏員として勤務。1994年、ながのーアスペン音楽祭にてスカラシップを獲得し、1995年、Aspen-Music-Festival に奨学生として参加。1996年、東京文化会館新進音楽家デビューコンサートオーディションに合格し、コンサートに出演。2004年、山形交響楽団入団。2011年、新日本フィル、仙台フィルのファゴット奏者達とファゴットアンサンブル『Brennholz-Bläser』を結成し、東北を中心に幅広く活動している。これまでにファゴットを浅野高瑛、霧生吉秀、K・エールベルガー、M・ウィルキーの各氏に、室内楽を中川良平、鈴木良昭の各氏に師事。現在山形交響楽団首席ファゴット奏者。岩手大学管弦楽団木管トレーナー。

大伏 亜里 (ヴァイオリン)

東京生まれ。4歳からピアノ、5歳からヴァイオリンを始める。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部を卒業後ドイツに留学、国立ケルン音楽大学を卒業。1995年より、Klassische Philharmonie Telekom Bonn のメンバーとして活動。1996年に帰国し山形交響楽団のコンサートマスターに就任。2012年4月より、山形交響楽団首席コンサートマスター。同楽団の定期演奏会でソリストを務めるなど、ソロ、室内楽の分野でも幅広く活動している。山形チェンバーミュージシャンズメンバー。全日本学生音楽コンクール東京大会第3位、日本モーツァルト音楽コンクール第2位。ヴァイオリンを西川重三、故宗倫安、辰巳明子、サシコ・ガヴリロフの各氏に、室内楽を原田幸一郎、岩崎淑、フリモス・ノウシャックの各氏に師事。

成田 寛 (ヴィオラ)

1986年に新日本フィルハーモニーに入団、約10年在籍。その間89年～90年、93年～94年の二度に渡りアン・ハーグ王立音楽院に留学、V.メンデルスゾーン氏に師事。またKISA 弦楽四重奏団のメンバーとして95年～97年、秩父及びロンドンでの“アマテウス・クワルテット・セミナー”に定期的に参加しアマテウス・クワルテットのメンバーより薫陶を受け、ロンドン・ロイヤル・ポートレートギャラリーに於ける演奏会等に出演。その後新星日本交響楽団の首席奏者に就任、合併後東京フィル首席奏者を2003年まで務めた。現在は山形交響楽団契約首席を務める他、鈴木秀美、若松夏美、寺神戸亮、有田正広、L・コッポラ、S・ホッポランドの各氏との室内楽やオーケストラ・リベラ・クラシカ、パッサ・コレギウム・ジャパン、クラシカル・プレイヤーズ・トウキョウ、レ・ボレアード等のメンバーとしても活動している。

小川 和久 (チェロ)

11歳よりチェロを始める。桐朋学園女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学音楽学部を卒業し、フランス国立ホルドー音楽院へ留学。高等科、室内楽科、現代音楽科、研究科を首席で卒業し、ホルドー市栄誉賞を受賞した。2000年には第4回「若手奏者のためのコンペティション」(現・名古屋国際音楽コンクール)ソロ部門にて優勝。最優秀者賞、朝日新聞社賞も併せて受賞。国立ホルドーオペラ座、ラムルー管弦楽団と特別契約を結び共演したほか、現代音楽グループ「Cseilox TACLOA」を結成し、フランス、スペインを中心に演奏活動を行い、多数のコンGRESにも参加。現在はアンサンブル・インストゥルメンタル・ドゥ・コルス(コルス)の首席奏者、2011年4月から山形交響楽団の首席奏者に就任したほか、長岡京室内アンサンブル、山形チェンバーミュージシャンズ、フレッシュカルテットメンバーなど、ソロ、室内楽でも幅広く活躍している。これまでに千本博愛、Etienne PECLARD の各氏に師事。

室内楽のタビエ

ファゴット&ストリングス

